

高齢者施設の個人情報保護対策

－漏洩事故は組織の信用リスクである－

介護業界では個人情報保護対策を重要な問題と考えていません。なぜなら、IT企業と異なり賠償請求などの大きな事故につながらないからです。対策は必要ないのでしょうか？コロナ禍で利用者の生活をツイッターで無制限公開した特養がありました。大きな事故とはなりませんでしたが、一部の敏感な家族からは猛烈に抗議されました。個人情報漏洩は経営を揺るがす大きなリスクではありませんが、介護事業者の信用に大きく関わります。なぜなら、個人情報を大切に扱うことは、利用者お一人お一人を大切にすることだからです。

セミナーの概要

《1》個人情報保護法制定の背景

- ・なぜ個人情報保護法が制定されたのか？

《2》介護業界にとって個人情報保護法とは？

- ・介護福祉業界ではこんな漏洩事故が起きている

《3》個人情報保護法への対応

- ・個人情報保護法対応で守るべき2つのルール
- ・2022年施行改正個人情報保護法のポイント

《4》個人情報漏洩防止の具体策

- ・信頼を得られる個人情報漏洩防止のルール
- ・個人情報帳票管理のルール
- ・第三者との情報交換のルール
- ・個人情報廃棄のルール
- ・帳票やデータ以外の個人情報漏洩防止ルール

《5》個人情報漏洩事故発生時の対応

※介護施設の漏洩事故例→<http://tiny.cc/prl9vz>

● 2022年施行改正個人情報保護法のポイント

1. 個人の権利保護の拡充

・利用停止・消去等の個人の請求権について、一部の法違反の場合に加えて、個人の権利又は正当な利益が害されるおそれがある場合にも拡充する。
・個人データの授受に関する第三者提供記録を、本人が開示請求できる。
・6ヶ月以内に消去する短期保存データについて、保有個人データに含めることとし、開示、利用停止等の対象とする。

2. 事業者の守るべき責務

・漏えい等が発生し、個人の権利利益を害するおそれ大きい場合に、委員会への報告及び本人への通知を義務化(要配慮個人情報の漏えい、不正アクセス等による漏えいなど)。
・違法又は不当な行為を助長する等の不適正な方法により個人情報を利用してはならない旨を明確化。

3. データ活用

・氏名
請求
提供
する情
報
4. 委員
[審判
も罰]

《4》個人情報漏洩防止の具体策

● 利用者や家族の信頼を得られる個人情報漏洩防止のルール

個人情報帳票管理のルール

個人情報の重さと帳票の機能を比較してルールを作る
過剰な管理ルールは業務の妨げとなり守られなくなる

第三者との情報交換のルール

FAXやメールの誤送防止のルールなど
日常業務の妨げとならない確実な方法で

情報の廃棄に関するルール

「〇年間保存の帳票」などの一斉廃棄のルールを決める。シュレッダー・焼却・溶解？
日常的な帳票廃棄のルールは？

帳票やデータ以外の個人情報漏洩防止ルール

日常業務における個人情報漏洩のリスクのルール
・面会簿の氏名・見学の受け入れ・実習生の受け入れ・ボランティアの受け入れ・居室やベッドの名札
・イベントの写真掲示・ニュース(通信)の発行・電話での利用者に関する問い合わせ・職員同士の会話

無料オンラインセミナー開催要領

■開催日時: 2023年9月29日(金) 13:30~15:00

■主催: 株式会社安全な介護

■講師: 株式会社安全な介護 代表 山田滋

■参加費: 無料

■参加方法: Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)

■申込方法: 下記URLからお申し込み下さい(9月19日締切)

<http://tiny.cc/srl9vz>

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp